


初期イスラーム文化形成論

—エジプトにおける技術伝統の終焉と創造—

長谷川 奏（早稲田大学総合研究機構 客員教授）著
本体価格 17,000円＋税

A5判上製函入 本文466頁 口絵4頁 挿図170点
ISBN 978-4-8055-0795-7 C3072



エジプトは、古代オリエント世界の中でも、他の地域に先駆けていち早く初期文明の知を作り上げた地であり、かつその後にも、ヘレニズム文明、イスラーム文明という三文明が厚く堆積していったことで知られる。それぞれの文明の中では、個性的な知が作り上げられ、記念碑的な造形物は遺跡として後世まで残される一方で、その多くは新たな文明の知に置きかえられるか、失われていった。本書は、こうしたエジプトにおける文明の歴史堆積を主題としており、初期文明に代わってヘレニズム文明が登場し、豊かな地中海文明が開花するものの、やがてそのシステムがゆらぎ、イスラーム文明にとってかわられていくまでの時代を対象にしている。本書は、その具体的な側面を検証するために、生活雑器をとりまく生活空間がどのように変質していったかを考察する論考である。（「はじめに」より抜粋）

中央公論美術出版

TEL 03-5577-4797 / FAX 03-5577-4798
〒101-0051

東京都千代田区神田神保町1-10-1 IVYビル6F

お取り扱いは

目次

はじめに

第Ⅰ章 エジプト物資文化の史的背景

第Ⅱ章 エジプト古代末期～初期イスラーム時代の生活文化と土器群

1. マルカタ南イシス神殿周域集落域—ローマ時代の生活文化と土器群—
2. マルカタ南イシス神殿内井戸址—ビザンツ時代の生活文化と土器群—
3. フスタート遺跡—初期イスラーム時代の生活文化と土器群—

第Ⅲ章 赤色光沢土器の系譜とその周辺

1. 赤色光沢土器の研究史
2. エジプト古代末期の土器生産
3. 赤色光沢土器を中心とした古代末期の生活雑器

第Ⅳ章 古代末期における地域的生活空間の展開

1. 西方デルタ
2. メンフィス
3. テーベ

第Ⅴ章 イスラーム文化形成へのプロセス

1. フスタートの建設と発展
2. フスタートの生活空間と生活雑器
3. 初期イスラーム時代土器の展開

おわりに

参考文献／観察表／フスタート出土土器年代推定資料文献史料
図版出典／あとがき／索引

著者略歴

長谷川奏(はせがわ・そう)

1958年愛知県名古屋市に生まれる。早稲田大学第一文学部(西洋史学科)、早稲田大学大学院(考古学科)で、歴史学と考古学を学ぶ。早稲田大学の任期制教員(理工学総合研究センター、エジプト学研究所:講師および准教授)、日本学術振興会カイロ研究連絡センター長を経て、現職は早稲田大学総合研究機構客員教授。専門はエジプト古代文明～初期イスラーム時代の物質文化研究。著書に、長谷川奏「地中海、砂漠とナイルの水辺のはざままで—前身伝統と対峙した外来権力の試み—」『環境に挑む歴史学』水島司編、勉誠出版(2016)、長谷川奏『地中海文明史の考古学—エジプト・物質文化研究の試み—』彩流社(2014)などがある。

関連書籍

エジプト王家の谷・西谷学術調査報告書

吉村作治 監修

アメンヘテプⅢ世王墓 (KV22) 報告書刊行委員会 編

【Ⅰ】アメンヘテプⅢ世王墓 (KV22) を中心として 本体価格 38,000 円＋税

A4 判上製函入 本文 342 頁 口絵 61 頁 挿図 166 点

ISBN 978-4-8055-0574-8

【Ⅱ】KVA とアメンヘテプⅢ世王墓 (KV22) に隣接する地域 本体価格 28,000 円＋税

A4 判上製函入 本文 206 頁 口絵 40 頁 挿図 141 点

ISBN 978-4-8055-0665-3